

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	環境・社会・経済 分野の区分			取組 レベル	取組事項に ○をつけてく ださい	【非該当】の 補完 入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																										
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別・年齢・障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	○		基本 （必須）	○		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している（研修の実施、相談窓口の設置）					●			●		●						●		
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備し、ハラスメントがないことを確認している	○		基本 （必須）	○		・ハラスメント禁止の旨を就業規則に明記し、定期的に研修を実施するとともに、社外相談窓口を設置している。					●			●								●		
3		【ワーク・ライフ・バランス】 ・過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワーク・ライフ・バランスを推進している	○		基本 （必須）	○		・労働基準法等の改正内容を経営者を含め共有している。長時間労働是正のための労働生産性の改善、時間管理、多様な働き方を許容する勤務体制の整備・対応を行っている。 ・時差出勤、時短勤務、在宅勤務等、柔軟な働き方が可能となる就業制度を設けるとともに、定期的に従業員からのニーズ把握やフィードバックのためのアンケートを実施し、社内研修や制度改善の検討を行っている。					●			●										
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認するとともに、日本語教育の充実や地域住民との交流促進など、受入環境整備に取り組んでいる	○		基本 （必須）	○		・雇用する外国人従業員に対し、定期的に困りごと等について、確認する面談の機会を設けている。					●				●		●							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	○		基本 （必須）	○		・社員向けの労働安全衛生講習会の実施、社内ポータル等を活用して周知徹底している				●					●									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	○		基本 （必須）	○		・メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修を実施している ・メンタルヘルスに対応した休職規程等を整備している。				●														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	○		基本 （必須）	○		・多様な人材の活躍状況をHPや広報誌等で積極的に発信する。					●					●		●						
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	○		基本 （必須）	○		・職務や役割に応じた研修体系を整備し実施している（リーダー研修、若手社員研修 他）					●	●			●	●								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	○		基本 （必須）	○		・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っている。					●				●		●							
10		【就業制度の改善】 ・子育てなど一人ひとりのライフスタイルに合わせた就業制度の導入、ワークライフバランスの実現に取り組んでいる	○		基本 （必須）	○		・職員向けに、制度周知や育休取得経験者からのフィードバックを含む研修を行っている。 ・取得対象者がいる部署に対して、利用者への取得推進を働きかけるとともに、人員補充の必要性や業務引継ぎの課題に対して、事前に確認するフローを構築している。	●			●		●			●		●						●	
11	環境	【男性育休の取得推進】 ・男性の育児休業が取得しやすい職場環境づくりに努め、子育てと仕事の両立に積極的に取り組めるよう、有給休暇制度等を設けている	○		基本 （必須）	○		・職員向けに、制度周知や育休取得経験者からのフィードバックを含む研修を行っている。 ・取得対象者がいる部署に対して、利用者への取得推進を働きかけるとともに、人員補充の必要性や業務引継ぎの課題に対して、事前に確認するフローを構築している。				●		●			●		●							
12		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	○		チャレンジ （任意）	○		・都道府県協会けんぽ、健保連に「健康企業宣言」を行っている。 ・健康経営優良法人認定プライム500（経済産業省）を取得している。 ・にいがた健康経営推進企業マスターを取得している。				●				●										
13		【生活困窮者の雇用・生活支援】 ・ひとり親、就職氷河期の非正規雇用者、失職者など生活困窮者の採用、生活環境改善の支援、職能・人材育成に積極的に取り組んでいる	○		チャレンジ （任意）				●	●	●		●			●	●							●		
14		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	○		基本 （必須）	○		・廃棄物の種類・量など現状を把握し、台帳を整備している。										●	●		●					
15	環境	【エネルギーの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○		基本 （必須）	○		・省エネ診断、その結果を踏まえた省エネ計画を策定し推進している（2026年～2030年）【予定】					●					●								
16		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、CO2の削減など排出の抑制に取り組んでいる	○		基本 （必須）	○		・算定ツールなどを利用して温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画を策定している（2026年～2030年）【予定】					●					●	●							
17		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	○		基本 （必須）	○		・社内で規制物質のリストを共有し、SDS等により内容を確認するとともに協力会社と情報共有を行い、より環境負荷の低い製品への切替が可能か定期的に確認するなど、現場における適切な使用及び管理に取り組んでいる。				●		●				●	●							

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

項目 番号	カテ ゴ リ	チェック項目	環境・社会・経済 分野の区分			取組 レベル	取組事項に ○をつけてく ださい	【非該当】の 補合 選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																										
18	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本 (必須)	○		・渡洋事業において、当社独自工法を用いて生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。						●							●	●			
19		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	○			基本 (必須)	○		・資源利用の削減、再利用を推進している。									●		●						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・自家消費型再生可能エネルギーの利用に取り組むとともに、省エネの促進に取り組んでいる	○		○	基本 (必須)	○		・オフィス等に太陽光パネルを設置している。							●				●						
21		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	○			チャレンジ (任意)									●											
22		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	○			チャレンジ (任意)	○		・ISO14001を取得している。				●		●				●	●	●	●				
23		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	○			チャレンジ (任意)	○		・サイトにて取り組みに関する情報を公表している。										●							
24	公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の保全と持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	○		○	チャレンジ (任意)									●			●	●	●	●					
25		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知し、徹底している		○		基本 (必須)	○		・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている。															●		
26		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知し、徹底している		○		基本 (必須)	○		・不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を実施している。															●		
27		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる		○		基本 (必須)	○		・特許、商標等知的財産権の取得・管理している。									●	●							
28		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本 (必須)	○		・「個人情報に対する基本方針」を定めて公表し体制を整備している。 ・社内研修を行い情報管理ルールを周知徹底している。															●		
29		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱って <u>いないこと</u> を確認している		○	○	チャレンジ (任意)	○		・事業活動において調達する資材及び取り扱う廃棄物を確認し、紛争鉱物に該当する鉱物を取り扱っていないことを確認している。															●		
30		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	○	○		チャレンジ (任意)								●			●		●	●	●	●	●	●	●	
31		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/		○		チャレンジ (任意)	○		・「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している。				●					●	●	●					●	

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	環境・社会・経済 分野の区分			取組 レベル	取組事項に ○をつけてく ださい	【非該当】の 補償 入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			○	基本 （必須）	○		・製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。 ・製品安全確保の観点で踏まえた取扱説明書を作成している。				●					●								
33		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している			○	基本 （必須）	○		・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している。 ・顧客の声を社内共有するための基本方針・体制・ルールを策定、従業員向け研修の実施している。 ・ISO9001を取得している。										●							
34		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	○		○	チャレンジ （任意）	○		・浚渫事業において、環境に配慮した当社独自工法の設計、開発を実施している。						●			●	●	●	●					
35		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		○	○	チャレンジ （任意）	○		・浚渫事業において、防災、減災に配慮した当社独自工法の設計、開発を実施している。 ・アプリケーション事業において、防災、減災に配慮したスマートフォンアプリを開発、展開している。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
36	社会 貢献・ 地域貢 献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している		○	○	基本 （必須）	○		・地域との対話・見学会などを実施し、対話に基づき、事業の地域への影響の把握を行い改善に努めている。					●					●	●		●	●		●	
37		【社会貢献活動】 ・寄付、地域活動への参加など持続的な社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		○	○	チャレンジ （任意）	○		・地域教育機関への図書カード寄贈を10年以上にわたり実施している。 ・地域ボランティアに積極的に参加している。									●			●	●			●	
38		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外販）している		○	○	チャレンジ （任意）	○		・自社コワーキングスペース等を地域飲食店へ定期的に開放し、地域食材を使った新商品を従業員や地域住民へ提供している。								●	●		●	●					
39	組 織 体 制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している			○	基本 （必須）	○		・経営理念を明文化している。 ・経営者が理念を持ち、毎日、経営理念、経営目標を社員に説明し、共有している。									●	●						●	
40		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している		○		基本 （必須）	○		・社内報や掲示板等で法令順守（コンプライアンス）の重要性を全社員に向けて発信している。 ・コンプライアンス研修を実施している。																●	
41		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している		○		基本 （必須）	○		・プロジェクトを組織し、指標等を用いて、活動を管理している。																●	
42		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）		○		基本 （必須）	○		・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、具体的な内容に努めている。																●	●
43		【DXの推進】 ・デジタル技術を積極的に活用し、職員等の業務効率化や生産性向上に積極的に取り組んでいる		○	○	基本 （必須）	○		・DXの推進プランを策定し、必要な機器、システム導入を進めるとともに、職員への研修を実施している。				●					●	●							
44		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、職場安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している		○		チャレンジ （任意）	○		・専門部署を組織し、体制を構築している。 ・リスクアセスメントを行った上で、適切な対策を講じている。																●	
45		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		○		チャレンジ （任意）	○		・CSR方針の策定、CSRマネジメントプロセスを整備している【予定】																●	
46		【事業継続】 ・過去の地震や水害などを教訓として事故や災害、さらにサイバー攻撃などの発生における事業継続計画を立案している		○		チャレンジ （任意）	○		・事業継続計画（BCP）の策定、定期的な訓練を実施している。 ・国土交通省関東地方整備局のBCP認定を取得している。											●		●			●	
47		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		○		チャレンジ （任意）	○		・情報収集を進めている。									●	●							●

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

上記以外で設定した取組項目																		
独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
浸透事業において、全国各地のパートナー企業と連携した実績を増やす。	浸透事業において、パートナー企業との連携実績件数 【現状値】連携実績 年間2件 【目標値】連携実績 年間15件						●					●		●	●	●		●
女性管理職比率を増加する。	女性管理職比率 【現状値】女性比率 13.3% 【目標値】女性比率 15.0%				●	●			●		●							
MR技術を活用した自社開発課題解決ソリューションHolostructionを普及させる。	Holostruction契約件数 【現状値】契約件数 130件 【目標値】契約件数 5,000件				●				●	●								●

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組の「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、【予定】と補記してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、「チェック項目」に関する具体的な取組を記載してください。